

INDEX

I. はじめに	- 1
II. これまでの菊川駅周辺まちづくり検討	- 2
III. 菊川駅周辺まちづくりの高まり	- 3
IV. まちのポテンシャル	- 4
V. 菊川駅周辺空間活用にあたっての方向性	- 5
VI. 空間活用のイメージ	- 7
VII. 自分たちにできることは何だろう	- 11

1. はじめに

目的

菊川市では、みんなが行きたくなるような魅力的な駅を目指して、まちづくりに取り組んでいます。

菊川駅は、いま、駅南北自由通路や北口駅前広場、南口駅前広場の拡張などの工事に着手しており、新しく生まれ変わろうとしています。

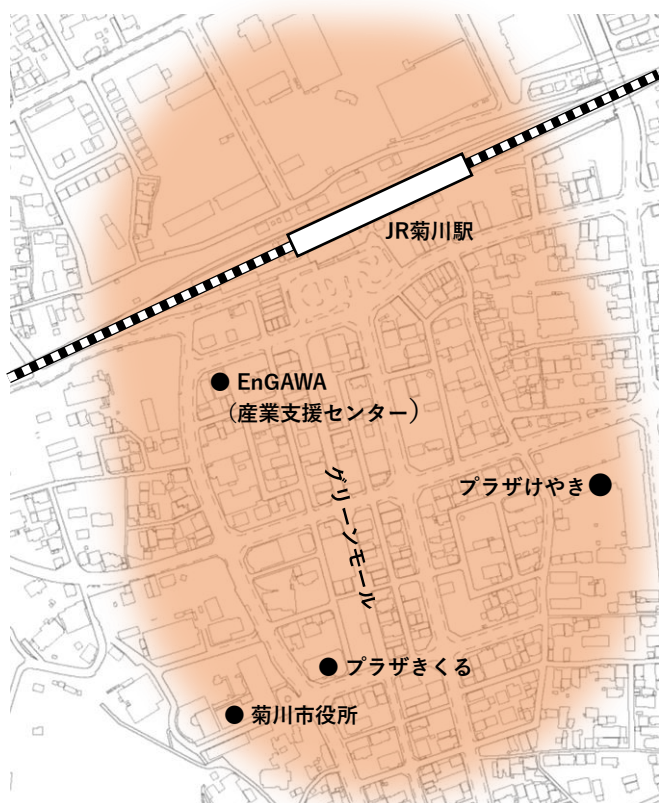
この『菊川駅周辺空間活用構想』は、**菊川駅周辺に関わる全ての人**（地域にお住まいの方、駅利用の方、民間企業、行政等）が**官民連携による活動や事業を行う際の共通の方向性を示す**、“**まちづくりのみちしるべ**”となることを目指しています。

まちづくりのみちしるべ



区域

今回の構想の中では、以下のエリアを「菊川駅周辺地区」として位置付けます。



検討の流れ

今回の構想は、地区の現況や菊川市が定めるまちづくりの計画、市民の皆さんからの意見（アンケートやワークショップ等）を踏まえ、菊川市役所関係各課と共に取りまとめました。

市の関連計画での位置づけ



菊川駅周辺地区の現況

土地利用、建物の状況、駅舎を含む整備事業の状況等



市民の皆さんからの意見

- ① 菊川駅北整備構想に係るアンケート/H28
- ② 高校生 新駅舎デザイン検討ワークショップ/R2
- ③ 駅前広場に関するアンケート/R4
- ④ 総合計画に係るアンケート/R4・R5
- ⑤ 高校生まちづくりプレゼンテーション/R5
- ⑥ 賑わいづくり研究会（アンケート・協議検討）/R1～
- ⑦ 空間活用探求ワークショップ/R5
- ⑧ 関係者ヒアリング/R5
- ⑨ 幼稚園、保育園の3歳児以上の保護者を対象としたアンケート/R5

菊川市役所関係課による検討

庁内検討会・庁内検討ワーキンググループなど

菊川駅周辺空間活用構想の策定

II . これまでの菊川駅周辺まちづくり検討

菊川駅周辺まちづくりの経緯

菊川駅周辺では昭和63年の「菊川町駅北周辺整備構想」の策定をきっかけに、将来の駅周辺のまちづくりを考えながら、時代と共に整備を進めてきました。

検討にあたっては、菊川駅北開発推進協議会や、新駅舎デザイン検討ワークショップ、高校生まちづくりプレゼンテーション、空間活用探求ワークショップ、アンケート、ヒアリングなどさまざまな議論の場を持ちながら、市民の方々と一緒に進めてきました。

時期	内容
1988年 3 月	・ 「菊川町駅北周辺整備構想」の策定
1995年度	・ 菊川駅北開発推進協議会の発足
2002年	・ 「菊川町駅北開発基本構想」の策定
2012年度	・ 朝日線JRアンダーパス開通 ・ 遠鉄ショッピングセンター、マンション、分譲宅地等の開発 ・ JR東海より菊川駅駅舎耐震化を平成25年度に実施する旨を公表
2015年度	・ 「菊川駅北整備構想」の検討を開始
2016年度	・ 「菊川駅北整備構想」の完成
2019年度～	・ 菊川市庁舎東館を核とした賑わいづくり研究会において、JR菊川駅から東館を中心とした地域の賑わい創出に向け協議検討
2020年11月	・ 新駅舎デザイン検討ワークショップの実施（県立小笠高等学校＆常葉大学附属菊川高等学校の生徒54人）
2021年 7 月	・ JR菊川駅新駅前広場に関するアンケートの実施（賑わいづくり研究会フェロー13人、オブザーバー2人）
2022年度	・ 菊川駅南北駅前広場等空間活用調査の実施 ・ 駅北まちづくり研究会の立ち上げ、勉強会（年 3 回）
2022年 7 月	・ 駅前広場に関するアンケート調査の実施（LINE、菊川・小笠児童館、駅前広場チラシ配布、市HP）回答数701人
2023年 1 月	・ 高校生まちづくりプレゼンテーション「市外の人を訪れたいくなるような駅前にするには」
2023年 3 月	・ 菊川駅周辺空間活用検討会ワーキンググループ キックオフミーティングの実施
2023年度	・ 空間活用探求ワークショップの開催（3 回） ・ 関係者ヒアリング・アンケート等の実施 ・ 「菊川駅周辺空間活用構想」の策定 ・ 駅北まちづくり研究会 勉強会（年 2 回）

Ⅲ. 菊川駅周辺まちづくりの高まり

■ 菊川駅周辺をとりまく環境と変化

■ 周辺立地について

菊川駅北側は、もとは工場でしたがその跡地利用として、現在はショッピングセンターや分譲住宅・マンションなどが開発され立地しています。さらに北側へ行くと、茶畑・山など自然資源豊富な丘陵地帯が広がっており、茶業で有名な菊川市ならではの景観を望むことができます。

駅南側は、市名の由来である一級河川「菊川」が流れ、菊川駅周辺は古くから交通の要所として栄えてきました。

現在は、JR菊川駅を中心とした500m圏（徒歩圏）に、北側の商業・住宅地から、南側の商店街、公共施設エリア（市役所・図書館・プラザきくる）等の施設が充実しており、駅周辺は本市の中心地といえます。

■ 菊川駅について

菊川駅は、1889年（明治22年）に開業し、現在は、しずてつジャストライン、菊川市コミュニティバスが接続しており、開業以来市内の交通の要となっています。

2022年時点で、年間乗車人員は1,307,332人となっており、直近10年で見ると減少傾向にあります。

現在は、駅舎のリニューアル、南北自由通路や北口駅前広場の新設、南口駅前広場の拡張等の工事が進められています。

■ JR菊川駅南北自由通路整備事業について

JR菊川駅南北自由通路整備事業では、北側の入口（駅前広場）を新設し、南北自由通路が設置されることで、歩行者は24時間、自由に南北の行き来ができるようになります。

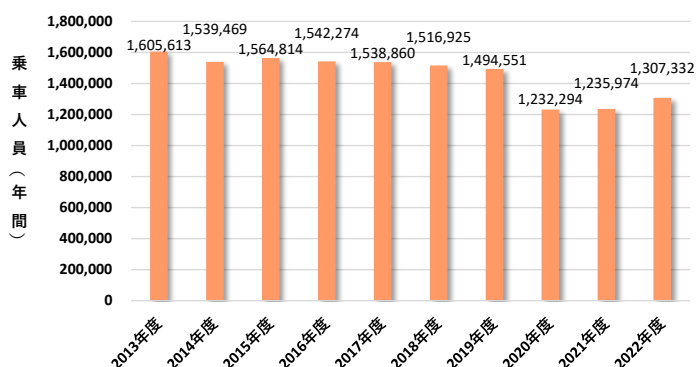
北側からも鉄道への乗降が可能になるため、利便性の向上が見込まれます。

また、新たに北口に駅前広場を整備することで、南口駅前広場や周辺道路の混雑緩和につながる事が期待されます。

駅周辺整備にあたっては、ユニバーサルデザインやバリアフリーを考慮して利便性・快適性を確保し、誰もが安心して利用できる駅を目指しています。



JR 菊川駅乗車人員（年間）



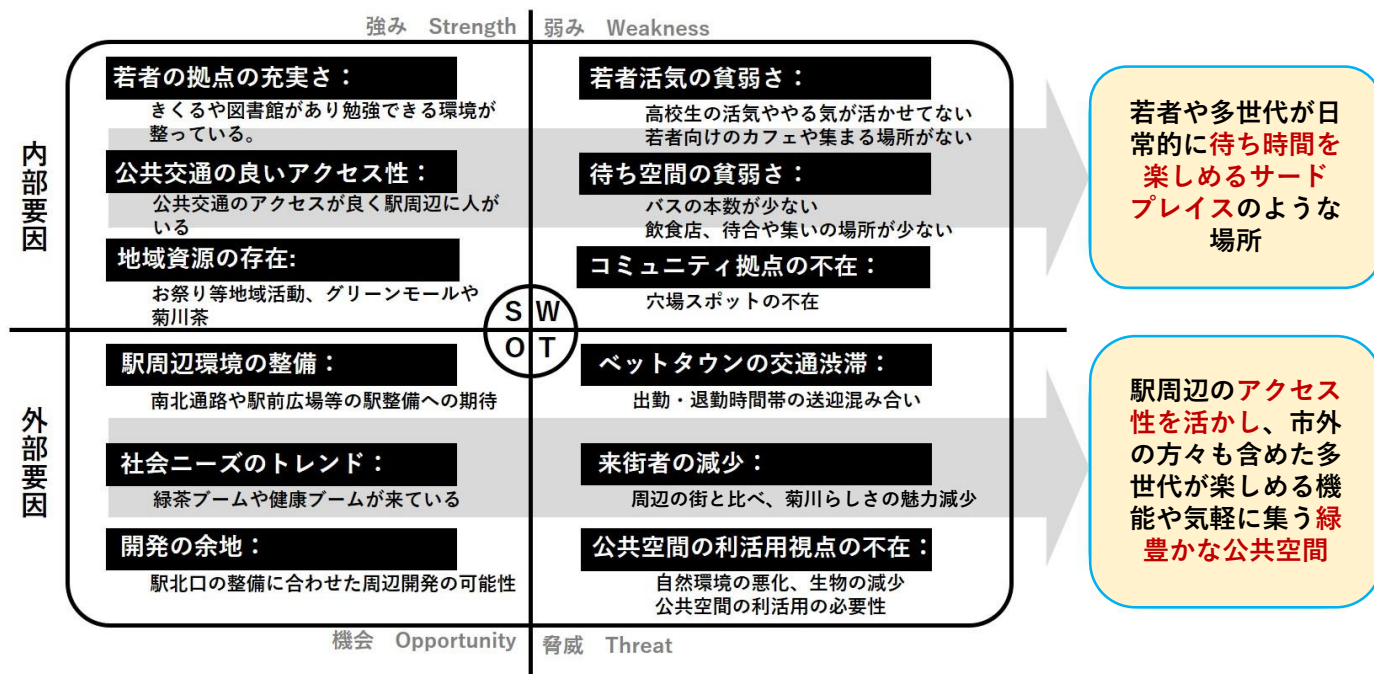
（出典：東海旅客鉄道株式会社 静岡支社）

IV. まちのポテンシャル

菊川駅周辺地区が持つまちのポテンシャルを、「強み」「弱み」「機会（有利な役立つ変化）」「脅威（不利な負担増の変化）」という4つの視点で整理しました。

この分析（SWOT分析）により導き出された「強み」は将来にわたって地区の「魅力」となる一方、「弱み」は今後まちづくりを進めて行く上での解消すべき課題となります。

まちの魅力と課題（SWOT分析）



まちの強みと機会

駅周辺では、プラザきくやEnGAWA（産業支援センター）など地域の人々が集うための拠点整備が進められています。

高校生を中心とした若者の力が結集しているとともに、今後は産業支援の拠点としても機能することが見込まれます。

また、菊川市の玄関口である駅周辺の再整備も進んでおり、利便性の向上も期待できます。

さらに、健康ブームの高まりを受けて、特産品である菊川茶を活かしたまちづくりを推進することも期待できます。



<今後のまちづくりに活かすべきこと>

- * 駅周辺に集う若者（高校生）と連携しながら、まちづくりの主役としての醸成
- * 交通の要としての機能「まち空間」「サードプレイス」の日常的な“場”づくり
- * 駅周辺の拠点性・集客性を活かした、非日常的な施設・機能の配置による市外からの来街者の誘致
- * 菊川駅周辺地区全体にわたる緑豊かな空間創出による、公共空間の高質化

V. 菊川駅周辺空間活用にあたっての方向性

駅周辺空間活用のテーマ

社会ニーズに対応する「**まち(待ち・街)を楽しめる場**」と、
若者を中心とした「**多世代が自己実現できる場**」が
共存するまちづくり

駅周辺空間活用にあたっての基本的な考え方

未来を見据えた発展・持続的なまちづくりを進めていくために、3つの基本的な考えのもと、駅周辺空間活用の取り組みを進めていきます。

< 3つの基本的な考え >

1 駅周辺の拠点性の向上

公共交通が集まる“駅周辺”であることを最大限活かし、これから先もずっと拠点としてあり続けるために、地域のニーズや技術の発展を捉えた公共交通・次世代モビリティを取り入れるなど、拠点性の向上を目指します。

2 駅周辺をとりまく好機会（チャンス）を活かす

南北自由通路や南北駅前広場の整備・リニューアルを好機会（チャンス）として捉え、子ども・若者・高齢者など幅広い世代の“（駅周辺に）行ってみよう”を引き出すことができる魅力的な環境づくりを進めます。

3 今ある施設・機能との連携・ネットワークを強化する

点で存在している今ある施設を、駅周辺の魅力スポット（目的地）として高め・連携させ、駅での“待ち”や駅周辺の“街”を楽しませる空間・機会を創出します。

拠点性・
集客性



回遊性

にぎわい

実現したいまちの使い方・過ごし方

駅周辺の空間活用によって誰にどのような過ごし方をしてもらいたいのか、まちの使い方・過ごし方として次のシーンの実現を描いています。



学生・若者

放課後や電車の待ち時間を今よりも充実して過ごせるよう、勉強や友達とのコミュニケーションを楽しむための場所があるといいね！



ファミリー

ファミリーで楽しめる場所があると嬉しいな。
子連れでも安全に気兼ねなく利用できる空間があるといいね！



高齢者

外出のきっかけ・健康づくりのきっかけ・交流の場として、駅周辺ににぎわいが出るといいね！

施設やイベント、楽しみ方など菊川ならではの魅力があるといいね！



来街者